

【NEWS RELEASE】

2021年12月30日

各位

株式会社三井住友銀行

特殊電極株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、特殊電極株式会社（代表取締役社長：西川 誉）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、特殊電極株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 溶接工事事業による、顧客の製造設備の長寿命化および製造工程における生産性向上への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

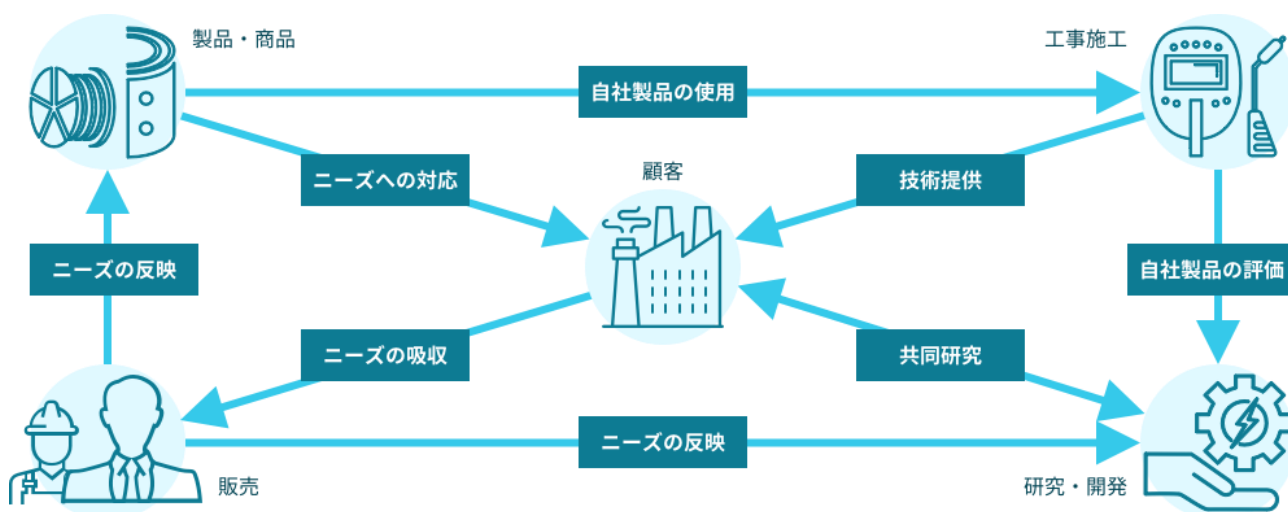
- ② 環境関連装置事業による、顧客の工場における作業環境の改善および製造工程におけるCO2削減への貢献

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者等、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
------------------------	--

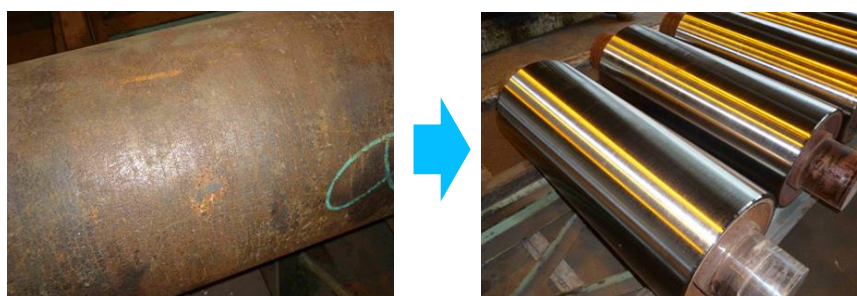
<p>目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	<p>9.4 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p>
--------------------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。

営業・工場・研究等、各部門が連携することで、製鉄・自動車・エネルギー等、さまざまな業界のお客さまの設備の保全や長寿命化といったニーズに即応した製品や技術を提供しております。



肉盛溶接によるロール(ローラー)の再生補修例



補修を行う対象物の金属材料の性質や使用環境を考慮の上、溶接材料を選定し肉盛溶接を行います。

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。